

登 録 速 報

農 薬 名：ヤイバ1キロ粒剤（登録番号：第 23063 号）

適用拡大登録月日：平成26年4月23日

適用拡大登録内容：

- 使用方法「湛水散布」を「湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布」に変更する。
- 使用方法「湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布」及び「田植同時散布機で施用」の適用土壌「砂壤土～埴土」に適用地帯「関東・東山・東海の普通期及び早期栽培地帯」を追加する。

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ (北海道を除く) ヘラオモダカ (北海道、東北) ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ (北海道を除く) シズイ(東北) コウキヤガラ (東北、関東・東山・東海、九州) アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ ノビエ3葉期 但し、 移植後30日まで	砂壤土～埴土	1kg /10a	1回	湛水散布 又は無人ヘリコプターによる散布	全域(北海道、九州を除く)の普通期及び早期栽培地帯
			壤土～埴土				北海道、九州の普通期及び早期栽培地帯
		移植時	砂壤土			田植同時散布機で施用	全域(北海道、九州を除く)の普通期及び早期栽培地帯
			壤土～埴土				北海道、九州の普通期及び早期栽培地帯

ピリミスルファンを含む農薬の総使用回数	フェントラザミドを含む農薬の総使用回数
2回以内	1回

注意事項の変更：

【変更前】

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに、時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布すること。ホタルイ（北海道は2葉期まで）、ミズガヤツリ（東北、北陸は2葉期まで）、ヘラオモダカ（北海道は2葉期まで）は3葉期まで、ウリカワは2葉期まで、ミズアオイは1葉期まで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは草丈3cmまで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期である。

【変更後】

- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに、時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布すること。ホタルイ（北海道は2葉期まで）、ミズガヤツリ（東北、北陸は2葉期まで）、ヘラオモダカ（北海道は2葉期まで）は3葉期まで、ウリカワは2葉期まで、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生始期まで、シズイは草丈3cmまで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期である。

【追加】

- 無人ヘリコプターで散布する際は以下に注意すること。
 - 散布は使用機種の使用基準に従って実施する。
 - 専用の粒剤散布装置によって湛水散布する。
 - 事前に薬剤の物理性に合せて粒剤散布装置のメタリング開度を調整する。
 - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m以上離して圃場内に散布する。
 - 水源池、飲料水などに流入しないように十分注意する。

安全使用上の注意の追加：

【追加】

- 無人ヘリコプターによる散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意すること。

以 上